



アフリカと日本と商社

第4回アフリカ開発会議（TICAD-IV）でアフリカ支援を示す「横浜宣言」が採択されてから2年が経過、6月にはアフリカ大陸で初めてのサッカーW杯が開催されるが、依然、貧困、紛争、感染症など、アフリカを取り巻く環境は厳しい。しかし、一方でアフリカ諸国は、大地に眠る膨大な鉱物、原油・天然ガスなどを背景にアジア諸国と同様、高い経済成長率を実現しており、中国や欧米諸国は、アフリカへの注目度を高めている。また、アフリカ支援に関しても中国の存在感が増している。そのような状況下、商社も資源開発を中心に大型プロジェクトに積極的に取り組んできており、今後、ますます取り組みが加速することが期待される。

サッカーW杯で世界の関心がアフリカ大陸に注がれる今、日本貿易会月報でもアフリカに注目し、特にサブサハラ地域での商社の資源ビジネスにスポットを当てるとともに、資源確保などの日本のアフリカに対する戦略を取り上げた。アフリカでのビジネスの可能性や取り巻く課題、中国などのアフリカでの資源確保の動向、日本のアフリカに対する資源確保戦略はどうなっているのか？また一方でアフリカに対する経済協力やBOPビジネスの可能性はどうなのか？ということについて考えてみた。さらに、商社OBの日本大使や駐日ルワンダ大使の方々にも商社への期待を頂くなど、とても豊富なラインアップになっているので、ぜひご一読いただきたい。

ブルキナファソ

面積：274,200km²
 人口：1,520万人（2008年 UNFPA）
 首都：ワガドゥグ
 主要産業：（農）粟、とうもろこし、タロイモ、綿および牧畜
 経済成長率：4.0%（2007年 世界銀行）
 対日貿易額：（2008年）
 輸出 3,399百万円
 輸入 2,186百万円

ルワンダ共和国

面積：26,300km²
 人口：1,000万人（2009年 UNFPA）
 首都：キガリ
 主要産業：（農）コーヒー、茶など
 経済成長率：11.2%（2008年）
 対日貿易額：（2008年）
 輸出 197百万円
 輸入 2,579百万円



赤道ギニア共和国

面積：28,057km²
 人口：51万人（2007年 世界銀行）
 首都：マラボ
 主要産業：石油、天然ガス、林業
 経済成長率：12.5%（2007年 世界銀行）
 対日貿易額：（2008年 貿易統計）
 輸出 1,175億円
 輸入 11.3億円

ボツワナ共和国

面積：58.2万km²
 人口：188万人（2007年 世界銀行）
 首都：ハボロネ
 主要産業：（農）コウリヤン、メイズ
 （畜）牛、羊
 （鉱）ダイヤモンド、銅、ニッケル、石炭
 （工）食品加工
 経済成長率：3.8%（2007年 世界銀行）
 対日貿易額：（2008年 財務省貿易統計）
 輸出 19.4億円
 輸入 28.7億円

南アフリカ共和国

面積：122万km²
 人口：4,790万人（2007年 世界銀行）
 首都：プレトリア
 主要産業：（農）畜業、とうもろこし、柑橘類など
 （鉱）金、ダイヤモンド、プラチナなど
 （工）食品、製鉄、化学など
 経済成長率：5.1%（2007年 世界銀行）
 対日貿易額：（2008年）
 輸出 49.15億ドル
 輸入 80.46億ドル

モザンビーク共和国

面積：79.9万km²
 人口：約2,140万人（2007年 国連）
 首都：マプト
 主要産業：（農林）とうもろこし、砂糖、
 カシューナッツなど
 （漁）エビ
 （工鉱）アルミ、天然ガス
 経済成長率：6.8%（2008年 世界銀行）
 対日貿易額：（2008年 貿易統計）
 輸出 53.21億円
 輸入 34.12億円

（出所）外務省のデータを基に作成